

# 新たな北海道総合開発計画の基本的な考え方について

---

国土交通省北海道局

令和4年11月7日

# 新たな北海道総合開発計画の基本的な考え方

## 北海道の果たすべき役割

■北海道開発の基本的意義：北海道の資源・特性を活かして、その時々々の国の課題の解決に貢献するとともに、地域の活力ある発展を図る

### 我が国及び北海道を取り巻く状況

深刻化する人口減少・少子高齢化、気候変動の影響など、我が国及び北海道を取り巻く状況は急速かつ大きく変化している。

- ・深刻化する人口減少・少子高齢化、人口の偏在
- ・「豊かさ」をめぐる価値観の変化
- ・気候変動と自然災害の激甚化・頻発化
- ・国際環境の変化と資源需要の増大
- ・社会を変える新技術

### 北海道のポテンシャル

豊かな資源に恵まれた北海道には、これらの変化に立ち向かい課題を解決するポテンシャルがある。

- ・広大な大地
- ・食料供給力
- ・資源・エネルギー
- ・自然環境・文化
- ・地理的特性、寒冷地技術

### 北海道の果たすべき役割

我が国及び北海道を取り巻く状況、北海道が持つポテンシャルを踏まえた、国の課題解決のために果たすべき役割がある。

- ①分散型国づくりを支える地方創生を先導する
- ②我が国の食料安定供給を支える
- ③我が国の脱炭素化を先導する
- ④北海道の自然環境・文化を受け継ぐ
- ⑤生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくりを図る
- ⑥競争力のある産業を育成し日本の経済成長に貢献する

## 2050年における北海道の将来像

北海道の現状と将来の懸念について概観し、国の課題解決のための北海道の役割を踏まえて2050年を見据えた北海道の将来像を描く

- 食、観光、脱炭素等の北海道の強みを活かした産業が国内外に展開し、豊かな北海道が実現することで、国の安全保障に貢献している。
- 人口減少、少子高齢化が進む中で、デジタルの実装により地方部においても定住・交流環境が維持され、快適な生活が実現している。

(将来像を支える根幹的な社会基盤の姿)

- ・北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）、高規格道路や港湾・空港施設などの交通ネットワークの整備が進展し、人や物の移動環境の機能強化や効率化が図られている。
- ・気候変動（2℃上昇）を前提とした河川整備など流域治水が進展し、強靱化が図られている。
- ・大区画化等の農業生産基盤、森林、拠点漁港等の整備が進展し、農林水産業の競争力強化が図られている。

## 2050年の北海道のあるべき姿・進むべき方向性

- 高い食料生産力を有する農水産業・食関連産業を形成
- 脱炭素社会を実現し、再生可能エネルギー基地を形成
- 世界市場を見据えた「食」「観光」「再生可能エネルギー」産業を形成
- 豊かな資源を活かして自立・循環する地域経済を構築
- 豊かな自然と共生する持続可能な社会を創造
- 北海道独自の文化を保全し、受け継いでいく社会を形成
- 北方領土隣接地域等の振興の実現
- 地域で生まれ、育ち、安心して暮らしていくことのできる社会を形成
- 国内外から人を引きつけるライフスタイル等を実現
- 経済・社会を支えるネットワークを確立
- 大規模災害から生命・財産を守り、社会の重要な機能を維持し、我が国の食やエネルギーの供給等を支える
- 切迫する大規模災害に対応した被災リスクを分散

## 新たな計画（10年）の目標

北海道開発の意義、2050年までの進むべき方向性を踏まえて、我が国の豊かな暮らしを支えるために北海道が果たすべき役割を強化するとともに、北海道が我が国に貢献するための土台を固め、北海道の価値を更に高め、今後10年間、スピード感を持って施策を進めるための目標を設定

